

No.2850

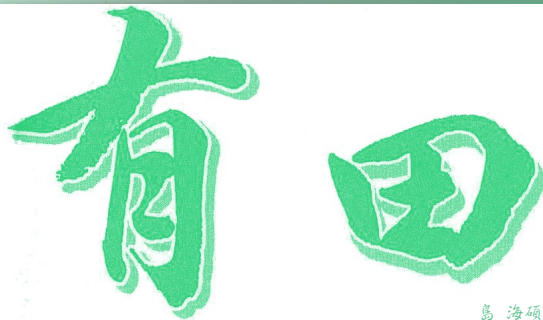
2017-2018年度

会長 成川 守彦

幹事 橋本 拓也

R広報委員長 應地 正章

担当:



島海碩書

第2640地区
 例会日 毎週木曜日 12:30
 例会場 紀州有田商工会議所6F
 〒649-0304
 有田市箕島33-1
 紀州有田商工会議所2F
 有田ロータークラブ
 Tel (0737) 82-3128
 Fax (0737) 82-1020
 創立 昭和34年6月15日
 ホームページ <http://www.aridarc.jp>
 e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



本日のプログラム

平成29年11月16日 第2851回

- ・ 会員卓話：児島 良宗 君
「私の考えるロータリー『平和』」
- ・ ソング：「それでこそロータリー」

前回の報告（第2850回例会）

開催日 平成29年11月9日(木)

点鐘 (成川(守)会長)

ゲスト・ビジターの紹介

(上野山(捷)親睦活動委員長)

ビジター: 竹中喜廣君(和歌山RC)

米山奨学生: 董 涛 君



11月の米山奨学金が成川(守)会長より董涛君へ授与されました。

今月の誕生・結婚祝

(上野山(捷)親睦活動委員長)

会員誕生: 成川(雅)君、酒井君、嶋田(ひ)君

配偶者誕生: 石垣よしみさん、應地拓子さん

上野山美知子さん、脇村佳世子さん

結婚記念: 江川君、井上君、石垣(泰)君、川口君

田端君、上野山(栄)君



11月のお誕生日

(左から) 酒井君、嶋田(ひ)君、成川(雅)君です。お誕生日おめでとうございます！

2017-2018年度クラブ方針

ロータリーを知ろう

～温故知新～

次回のお知らせ

平成29年11月30日 第2852回

- ・ 外部卓話：永田 雄治 氏 (陸前高田RC)
「インド・ポリオワクチン投与活動の現場は」
- ・ ソング：「四つのテスト」



<お誕生日に一言>

成川(雅)君: 皆様に助けられ今日まで生きてこれました。
 酒井君: 50才を迎えることができました。皆様ありがとうございます。これからは特に体重に気をつけて毎日健康に過ごしたいと思います。
 嶋田(ひ)君: 67才になりました。毎日、仕事・趣味に忙しくしています。感謝です。



11月が結婚記念日の皆さんです。おめでとうございます！

<結婚記念日に一言>

井上君: 27年目。長いような短いような27年でした。
 石垣(泰)君: 34年目。電卓で計算をしないと分からないくらいです。自宅では知ったかぶりをして話できます。ありがとうございます。
 川口君: 16年目。妻に感謝。これからも共に歩みます。改めてよろしくお祈りしますね。
 田端君: 21年目。夫婦、子育て真っ最中であり、まだまだゆっくりとできる状態ではありません。
 上野山(栄)君: 22年目。妻を大切にします。

ニコニコ箱の報告 (中元SAA)

成川(守)君: 酒井君、中元君、卓話、ご苦労さまです。地区大会に出席された皆様、ありがとうございました。
 橋本君: 皆様、地区大会参加ありがとうございました。酒井さん、中元さん、本日の卓話よろしくお祈りします。
 脇村君: 酒井さん、中元さん、本日の卓話よろしくお祈りします。

児嶋君:会員卓話、酒井様、中元様、よろしくお願ひします。

嶋田(崇)君:酒井さん、中元先生、卓話ご苦勞さまです。

菅原君:酒井さん、本日の卓話宜しくお願ひ致します。

木本君:酒井隆正さん、中元耕一郎さん、本日の卓話宜しくお願ひします。ミャンマー研修の皆様、宜しくお願ひ致します。

酒井君:本日の卓話、よろしくお願ひします。

中村君:酒井さん、中元先生、卓話よろしくお願ひします。ミャンマーへは氣をつけて行ってきて下さい。

田端君:酒井様、中元様、卓話ご苦勞様です。勉強させていただきます。

上野山(捷)君:酒井隆正様、中元耕一郎様、卓話よろしくお願ひ致します。

應地君:中元先生、酒井さん、卓話を楽しみにしています。

岩本君:お二人の卓話、楽しみにしています。

松村君:酒井さん、中元さん、卓話よろしくお願ひします。

上野山(英)君:中元君、酒井君、本日卓話ご苦勞様です。

橋爪(正)君:酒井隆正君、卓話楽しみです。

橋爪(誠)君:酒井ロータリー財団委員長、本日の卓話よろしくお願ひいたします。中元先生、「ミャンマー国際奉仕事業」発表よろしくお願ひいたします。

井上君:先日は地区大会出席おつかれ様でした。先日、長女の結納がありホッとしています。

成川(雅)君:ミャンマー国際奉仕事業のご成功をお祈り致します。

石垣(泰)君:中元さん、ミャンマーへ行けなくなり申し訳ありません。次回は参加します。酒井さん、卓話ご苦勞様です。

児嶋君:酒井さん、中元さん、卓話ご苦勞さまです。地区大会では嶋田先生にお世話になりました。

上野山(栄)君:酒井さん、中元先生、卓話よろしくお願ひします。今日はトウトウ君が会社に来てくれます。日本のお葬式を知って下さい。野口様のご冥福をお祈りします。

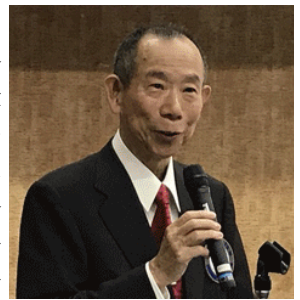
嶋田(ひ)君:酒井様、中元先生、卓話宜しくお願ひします。

川口君:本日の卓話、酒井さん、中元さん、宜しくお願ひ致します。勉強させていただきます。

中元君:本日、卓話させていただきます。

会長の時間 (成川(守)会長)

「ロータリー財団月間、地区大会」



11月は「ロータリー財団月間」です。「ロータリー財団に1ドル寄付すれば、ほかの慈善団体に寄付するよりもよほど大きな成果が得られるのです。『世界でよいこと』をするために1ドル出すのであれば、そのお金を預けるべきはロータリー財団をおいてほかにありません」と11月の会長メッセージに書かれています。

「クラブは、各ロータリー年度に少なくとも2回、そのうち1回はロータリー財団月間に指定されている11月に、ロータリー財団の目的、プログラム、および寄付増進活動に関するプログラムを取り上げた例会を設けるべきである。」とされています。

今日は、酒井ロータリー財団委員長から「ロータリー財団」について、卓話で話していただきます。

さて、4日5日は地区大会でした。出席者は、1131名でした。有田RCからは19名の参加でした。4日の地区大会選挙人会議は、お手元に配布していますのでご参照ください。地区大会までに1クラブからクレームがついていましたが、滞りなく全員一致で承認されました。

<地区大会選挙人会議>

(審議事項)

- (1) 2016-2017年度地区財務報告採択の件
全員賛成で可決
- (2) 2020-2021年度ガバナー候補者選出方法に関する選択の件
今回は、「郵便投票」とする
- (3) 2019年度RI規定審議会に対する制定案上程の件
「堺おおいずみRC」と「地区」の2件が全員賛成で可決
- (4) 2018-2019年度地区大会の開催地・開催日の件
平成30年10月27日(土)28日(日)
和歌山市 ホテルグランピア 全員賛成で可決
- (5) 今次地区大会上程決議案の件
第1号から第6号議案が全員賛成で可決
- (6) その他:なし

(協議事項)

- (1) 地区資金中の未収入金の今後の処理方向の件
地区会計の収支には入れないが、「但し書き」として残す。
- (2) 米山記念財団設立50周年に関連し、米山梅吉記念館へ当地区資金より会員1人当たり100円程度の寄付を行なう件
今年度は、地区資金から一人当たり200円の寄付をする。(クラブからの拠出金は、不要)
- (3) ガバナー月信発行に伴う会計処理の件
ページ数が増えているので、予算に100万円の増加をする。

では、二日間の様子をPPTで報告します。

出席報告 (橋爪(正)例会運営委員)

本日の会員数32名

(出席規定免除会員9名)

出席会員数28名

(出席規定免除会員8名)

90. 32%

10/19 86. 21%

MU: 中村君

2017-2018 RI第2640地区 地区大会


岡本 浩 ガバナー

RI会長代理 大室 僣(すぐる)PDG




参加者 1131名

RI会長代理ご夫妻
他地区DG、PDG(令夫人を含む)
2640地区PDG、AG(令夫人を含む)
地区委員会委員長、委員
地区内66クラブ(69クラブ中)会員
米山記念奨学会の奨学生




目次

1. ご挨拶
2. 本年度RIテーマの説明
3. シカゴとエバンストン
4. ロータリーの組織
5. ロータリー財団
6. ロータリー米山記念奨学会
7. トロント国際大会

プロフィール

大会記念講師紹介

生年月日 1943年5月9日

略歴 昭和37年 3月 学習院高等学校卒業
昭和42年 3月 慶応大学大学院(歴史学)修士課程修了
昭和62年 4月 東大寺塔頭中住持に就任
東大寺塔頭中住持に就任
東大寺学頭理事、東大寺執事、東大寺学頭理事などを歴任
平成22年 5月 環状寺住持、第220世東大寺別当
平成25年 5月 東大寺長老、東大寺総合文化センター総長
平成28年 5月 東大寺長老、東大寺学頭理事
ロータリー歴 88年高島大宮RC入会、国際ロータリー第2650地区2014-15年度ガバナー、地区東日本長官選挙支援特別委員、MPHFCメムバフッカー、米山山荘住持(8)

著書 読書(第二の発見) / 読書(福田源社、文：北河原公敬 / 発行：2014年3月) / [CDブック] こころの法則(東大寺・北河原公敬) / 発行：2014年10月 / 著書(2014年6月) / 『はるかなる中で育ちながら心に染まらぬ』 / 発行：読書社 / 平成24年2月 / DVD [いのちを語る第10巻] 北河原公敬(東大寺) × さだまさし / 発行：ユーキャン、敬政：大仏次郎

記念講演

RI第2650地区 2014-15 DG

北河原 公敬

地区大会決議案

決議第1号

「国際ロータリー会長並びに
会長代理ご夫妻に感謝する件」

決議第2号

「国際ロータリー会長の示された
本年度テーマ推進の件」

決議第3号

「地区指針の達成に努力する件」

地区大会決議案

決議第4号

「2018年度トロント国際大会に
参加を推進する件」

決議第5号

「福井隆一郎直前ガバナーに感謝する件」

決議第6号

「ホストクラブ並びにコホストクラブに
感謝の件」

幹事報告

(橋本幹事)

- 10/26に臨時理事会を開催しました。
審議内容は、
 - ①ミャンマー国際奉仕事業予算のMJTへの送金について(国際奉仕委員会)
 - ・ミャンマーの通貨(チャット:Kyat)で送金できない場合は、現金を持参する。
 - ・会長メッセージを持っていく。
 - ・参加者は以下の5名。嶋田崇、上野山栄作、松村秀一、中元耕一郎、橋爪誠治、団長は嶋田(崇)副会長。
 - ②2017年決議審議会 決議案について:クラブ意向確認(情報研修委員会) 賛成10件、反対15件、棄権2件
 - ③「地区大会における2017-2018年度選挙人会議」の審議事項「2016-2017年度地区財務報告採択の件」(会長)
 - ・財務報告書の内容確認をしたが不明点も多く、地区大会で説明を聞き判断する。
2. 地区より、11月の月信発行が11月中旬に遅れる通知がありました。
3. 東日本観光(株)から、来年の国際大会(トロント)の旅行募集案内が届いています。成川(雅)国際奉仕委員長に渡しました。
4. 和歌山RC及び田辺RCより、董涛君宛に卓話に対するお礼状が届いています。
5. 田辺東RCより週報が届いています。
6. 他クラブより、例会変更のお知らせが届いています。
7. 来週の例会で、ミャンマー国際奉仕事業の結団式を行います。
8. 本日、例会終了後、この場所で定例理事会を開催します。

委員会報告

*指名委員会(松村委員長)

11月16日例会終了後に例会場で第1回指名委員会を開催します。

卓話

「ロータリー財団について」



会員
酒井 隆正 君

今回の卓話は自らにもよい機会であり財団について学ばせていただきました。

ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにするための活動やグローバルなイニシアチブを資金面で支えているのがロータリー財団です。

1917年、アーチ C. クランプリ会長が「世界でよいことをするために」基金の設置を提案しこの基金が1928年に「ロータリー財団」と名づけられました。

1947年、ロータリー創設者のポール・ハリスが亡くなると、多くの人びとから国際ロータリーに寄付が寄せられました。この寄付は「ポール・ハリス記念基金」となって、その後のロータリー財団の発展のために大いに役立てられました。

財団プログラムも時代とともに変遷してきました。

1985年全世界でポリオの撲滅をめざす「ポリオプラスプログラム」を設置しました。

2013年には 世界中のロータリアンがグローバルなニーズに応えられるよう、新しい補助金モデル(地区補助金、グローバル補助金、パッケージ・グラント)を導入されました。地区補助金は地区の裁量で多くの事業を営むことができます。一方でグローバル補助金は重点事業6分野に絞られております。代表的な事業例ややってはいけない事業などについても共有させていただきます。求められることはいずれも事業もロータリアンが汗をかくということになります。

1917年に26ドル50セントの寄付から始まったロータリー財団は、10億ドル以上の寄付を受けるほどの大きな財団に成長しました。財団はこうして多くの方々に支えられ、人道的分野や教育面での支援活動を続けています。

次週11月23日(木・祝)は
休会です。



有田RC国際奉仕事業 「ミャンマーにおける有機肥料を使った 職業訓練事業」



会員
中元 耕一郎 君

1. ミャンマー農業の現状

「アジア最後のフロンティア(未開拓地)」とも呼ばれるミャンマー連邦共和国は、インド・バングラディシュ・中国・タイ・ラオスと国境を接し、国民の約半数が農村に居住する。その貧困率は約30%と言われ、自分の土地を持たない農民が全体の50%以上を占める。彼らの多くは劣悪な生活をおくっており、都市部へと容易に流入する傾向も起きている。かつては、ベトナム、タイと並ぶ世界最大のコメ輸出国であったミャンマーだが、農業技術の改善が思うように進んでおらず、牛や人力のみの伝統的な農法に依存しているのが実態である。加えて化学肥料や農薬はすべて隣国(タイ、中国)からの輸入品であり、価格も高く、商品説明がすべて他言語であることから、適正使用が妨げられている。また安全基準値を超えた安価な化学肥料や農薬も密かに流通しているとも言われている。このため、土壤汚染や健康被害が深刻な地域も出現してきている。

2. 当奉仕事業の目的

現在、ミャンマーの急速な民主化と経済改革が進む中、農村部の若い人々は効率よく賃金が得られる都市部へ流入し、農村部の労働者数減少が問題となっている。人手不足のため、またミャンマーの農民は安全で安心な有機肥料の作成や使用方法の知識に乏しいため、やむなく有害な化学肥料や農薬を使用し、農作物の生産性を維持しようとしている。その結果、農地や農産物だけではなく農民自身にも弊害が現れてきているのが現状である。そこで、有田ロータリークラブはバゴ管区(Bago Township, Bago City)、Kyun Thone Pin 村に有機肥料を用いた農業を推進していくため、現地の専門講師(4名)を招いて5日間に渡り、農民を対象(100~150人)としたセミナーを開催する。同時に国際ロータリーおよびロータリー財団の認知度向上、そして、わが国とミャンマーとの国際親善、国際交流をさらに深めることにもその目的がある。

今回はヤンゴンRCの方々も当セレモニーに参加くださる予定で、有田RCとヤンゴンRCの友好を深める絶好の機会でもある。

3. 日時・スケジュール

11月22日(水)ミャンマー到着

11月23日(木)ヤンゴンRC例会参加

11月24日(金)バゴ市へ移動、セミナー初日に参加

11月25日(土)ヤンゴン国際空港から帰国へ

11月26日(日)帰国

4. 事業の実施内容

現地の専門講師を招いて5日間に渡り、農民を対象としたセミナーを開催する。セミナーでは有機肥料の作成方法とその使用方法についてわかりやすい指導を行うとともに、消耗品であるスコップ等の農機具も贈呈する。また、帰国後も有機肥料を使って作った農作物の生育画像をメールにて定期的に確認する。

5. 参加者

現地農民(100~150名)

現地専門講師(4名)

バゴ管区の政府関係者(1~2名)

有田RCメンバー(5名)

ヤンゴンRCメンバー(2~3名)

協力団体(MJT)メンバー(3~4名)

6. 事業予算

収入	財団地区補助金	119,570円 = \$ 1,087
		(ロータリーレート 110円)
	クラブ拠出額	177,430円
	合計	297,000円

ミャンマー国際奉仕事業へのコメント

(成川(守)会長)

今回の「ミャンマーにおける有機肥料を使った職業訓練事業」は、国際奉仕委員会の中元先生が中心になり企画していただきました。

会長である私は、この事業に参加しなければなりません。都合の悪いことに、RI会長やロータリー財団管理委員長が来日し、日本のロータリーリーダー(RI理事・R管理委員、DG、PDG)が開催する「第1ゾーン~第3ゾーンのロータリー研究会」(21日から23日まで)に、2019年規定審議会代表議員として出席しなければなりません。誠に申し訳ないのですが、嶋田崇副会長が団長になり5名の会員が行っていただきます。

世界社会奉仕プロジェクト(WCS)で支援する場合、例えば、「魚を送るのではなく、魚の取り方を教えよ」と言われます。今回のミャンマーの事業は、農作物を送るのではなく、ミャンマーの農民の皆様に、安全で安心な有機肥料の作成や使用方法の知識を教授し、有害な化学肥料や農薬を使用することなく、農作物の生産性を維持していただけるものであり、農民自身の健康被害もなくなるという素晴らしい事業であります。

この事業により、国際ロータリーおよびロータリー財団の奉仕活動が周知され、且つ、日本とミャンマーとの国際親善・国際交流がさらに深まれば、これほど嬉しいことはありません。

嶋田団長はじめ参加される皆様に敬意を表したいと思います。

旅行中の安全をお祈りしています。

閉会・点鐘

(成川(守)会長)